

令和 7 年度大阪府新型インフルエンザ等対策訓練

令和 8 年 1 月



政府訓練とシナリオ連携した大阪府新型インフルエンザ等対策訓練 概要

目的

政府訓練と連携し、大阪府新型インフルエンザ等対策行動計画（R7.3改定）に基づき、感染症危機発生時に迅速かつ機動的に動けるよう対応を確認する。

訓練概要

関西国際空港や大阪港を有する国内流入の可能性の高い自治体の1つであり、2025大阪・関西万博における感染症対応の経験も踏まえ、政府訓練の連携自治体として、海外での新型インフルエンザ発生という初動期を想定した共通シナリオに基づき、政府の動きと連携した訓練を実施。

政府訓練

同日開催

大阪府訓練

政府対策本部会合

- 11月18日 8時05分開催
- ・基本的対処方針の決定
 - ・総理より各閣僚への指示 等



大臣と知事等との緊急連絡会議

- 11月18日 15時00分開催
- ・総理指示や今後の対応の共有
 - ・知事から自治体の状況の報告 等



大阪府新型インフルエンザ等対策本部

- 11月18日 16時15分開催
- ・医療提供体制や府独自のリスク評価等の報告
 - ・今後の対応方針の決定 等



大臣と知事等との緊急連絡会議訓練

【大阪府の対応状況を報告】

- ◆ 感染対策を進める時間を確保するため、
関西空港検疫所や大阪検疫所との連携を強化
- ◆ 医療措置協定に基づき、
重症・軽症中等症あわせて約2,700病床の確保及び
発熱外来約2,400医療機関への要請
- ◆ 保健所設置市を含む府域全体の患者情報の公表や
入院調整の一元化に関する保健所との調整
- ◆ 大阪健康安全基盤研究所等における検査体制の整備

【政府への要望】

- ◆ 患者情報の公表基準や検査手法等の
最新情報の都道府県への提供や水際対策の徹底
について要望



大阪府新型インフルエンザ等対策本部設置・運営訓練

【出席者】

知事、副知事、各部局長、大阪健康安全基盤研究所理事長

【概要】

◆ 新型インフルエンザの発生状況や医療提供体制の整備状況等の報告

◆ 大阪府独自のリスク評価の報告（大阪健康安全基盤研究所理事長より報告）

- ・現時点で優先すべきは、国内外の疫学情報・研究情報の収集
- ・小児や高齢者などの年齢層別に優先的に保護すべき人口集団を特定し、流行した場合、速やかにその対象に対する対策を重点的に計画・実施すべき
- ・府民にお願いする日常感染対策は、飛沫感染対策を中心として3密を避け、マスク、手洗い、そして換気が効果的
- ・大阪大学感染症研究拠点、大阪公立大学大阪国際感染症研究センター、国立感染症研究所、FETP大阪拠点等と連携し、引き続きリスク評価を実施

（※）大阪府行動計画において、大阪健康安全基盤研究所を中心に、関係機関と連携し、初動期から独自にリスク評価を実施することとしている。

◆ 各部局の取組の報告

◆ 本部長（知事）による今後の対応方針の決定

- ・府民等への感染対策の呼びかけ、正確な情報発信
- ・医療提供体制の整備、医療機関や医療従事者への支援策の準備
- ・保健所や本庁における応援体制の整備 等



国内患者未発生期を想定

医療提供体制等の整備に向けた対応確認

【日程】

7月31日（木）

【参加者】

大阪府職員



【概要】

◆医療提供体制等の整備に向け、**班別で初動対応に必要な対策について協議、確認**

班名	協議、確認した対策
企画・広報・報道班	<ul style="list-style-type: none"> ・対策本部会議、専門家会議等に係る企画立案 ・府民等への情報提供内容の整理（ホームページ、SNS、会見）
防疫・検査・相談対応班	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所との調整 （保健所設置市を含む府域全体の患者情報の公表及び入院調整の一元化、情報収集手順の整理 等） ・検疫所との調整（水際対策の強化） ・検査体制の整備（大阪健康安全基盤研究所や保健所との調整） ・府民受診相談センター、府民一般相談窓口の設置
医療体制整備班	<ul style="list-style-type: none"> ・入院体制、発熱外来体制の整備 （感染症指定医療機関、協定締結医療機関への情報提供・要請 等） ・入院フォローアップセンターの立ち上げ及び患者移送体制の検討
薬剤・物資班	<ul style="list-style-type: none"> ・治療薬、物資の備蓄状況、配布手順等の確認

情報伝達

【日程】

5月30日（金） 保健所・大安研
11月27日（木） 指定地方公共機関

【参加者】

府内18保健所（府管9、政令・中核市9）
大阪健康安全基盤研究所
指定地方公共機関13機関
大阪府

【概要】

- ◆**海外において新たなインフルエンザが発生**した状況を想定
- ◆**国や府の初動対応について**、保健所、大阪健康安全基盤研究所及び指定地方公共機関へ**伝達**
- ◆各機関において、健康危機対処計画や業務計画に基づき、**有事における初動体制への移行手順等を確認**

検疫所での疑似症患者の確認を想定

関西空港検疫所検疫措置等

【日程】

関西空港検疫所検疫措置訓練 12月11日（木）

関西空港検疫所から感染症指定医療機関への患者移送訓練

11月26日（水）りんくう総合医療センター（特定）

12月25日（木）堺市立総合医療センター（第一種）

1月22日（木）大阪市立総合医療センター（第一種）

【参加者】

検疫措置訓練：関西空港検疫所、出入国在留管理局、
内閣官房関西空港危機管理官室、関西エアポート株式会社、
関西国際空港航空会社運営協議会（AOC）、保健所、大阪府

患者移送訓練：関西空港検疫所、
関西空港エアポート株式会社 KIXオペレーションセンター（KOC）、
大阪府、感染症指定医療機関

【概要】

◆ 関西空港検疫所にて新型インフルエンザの疑似症患者が確認され、大阪府に感染症指定医療機関の調整を依頼

◆ 大阪府が感染症指定医療機関との調整を実施

◆ アイソレータ等を用いて関西空港検疫所から感染症指定医療機関への患者移送、感染症指定医療機関での患者受入



府内での患者の確認を想定

感染症指定医療機関への患者移送（政令・中核市保健所と連携）

【日程】

- 11月19日（水） 枚方市保健所（新型インフルエンザ想定）
市立ひらかた病院（第二種）
- 12月10日（水） 堺市保健所（新興感染症想定）
堺市立総合医療センター（第一種）

【参加者】

府内各保健所（政令・中核市保健所含む）、大阪府、
感染症指定医療機関

【概要】

- ◆ 保健所や救急隊等からの搬送依頼連絡から情報共有、患者引き渡しから収容、検査の実施
- ◆ 行政検査の依頼から検体回収・搬送までの対応
- ◆ アイソレータの操作方法、防護服の着脱、移送車やアイソレータの消毒
- ◆ 職員の安全を第一に考えた訓練内容で実施



（※）例年、感染症指定医療機関所在地保健所が輪番で感染症指定医療機関への患者移送訓練を実施（新型インフルエンザに限らず一類・二類感染症等想定の場合もあり）。

講評

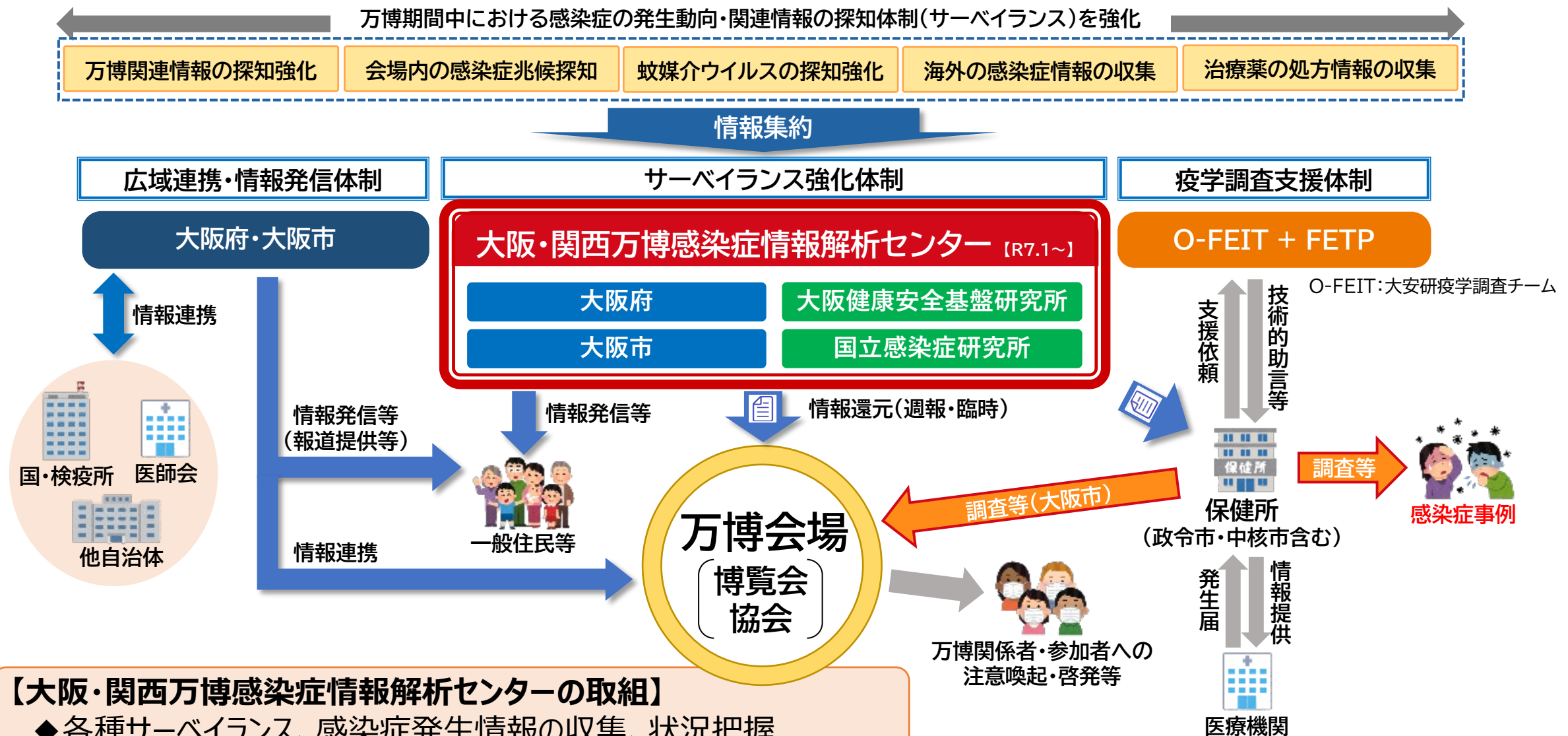
- ◆ 海外での患者発生時において、国内流入に備えた国と都道府県の初動対応の連携を確認することができた。
- ◆ 改めて新型コロナウイルス感染症対応での経験や知見を活かし、今一度、感染症危機発生時の備えを再認識することができた。
- ◆ 医療措置協定等により確保している体制整備について、再点検の必要性を認識することができた。
- ◆ 庁内各部局が大阪府新型インフルエンザ等対策行動計画に基づく対応について、再確認することができた。
- ◆ 保健所や大阪健康安全基盤研究所、指定地方公共機関、検疫所、感染症指定医療機関等との情報連携や感染症患者の安全な移送手順を再確認することができた。

今後に向けて

- ◆ 大阪府新型インフルエンザ等対策本部における対応方針決定に向け、大阪府独自に速やかなリスク評価を実施できるよう、大阪大学感染症総合教育拠点（CiDER）、大阪公立大学大阪国際感染症研究センター（OIRCID）、大阪健康安全基盤研究所、大阪府及び大阪市の5者で、感染症危機事象に備えた連携協定締結について調整中。次年度に向け、大阪健康安全基盤研究所や関係機関等と連携した訓練を検討する。
- ◆ 平時の医療提供体制等の整備に向けた対応確認訓練や関係機関との情報伝達訓練、検疫所が実施する検疫措置訓練、感染症指定医療機関との患者移送訓練において、継続的に対応や連携の確認を行う。

実効性ある訓練を実施し、感染症危機発生時に速やかに対応できるよう備える




【参考】2025大阪・関西万博における感染症対応強化の全体像



【大阪・関西万博感染症情報解析センターの取組】

- ◆ 各種サーベイランス、感染症発生情報の収集、状況把握
- ◆ 収集情報を基にした万博への影響等の分析・評価
- ◆ 週報・臨時報告を作成し、保健所、博覧会協会等への情報還元
- ◆ 一般住民等への情報発信・啓発

【参考】2025大阪・関西万博関連感染症対応訓練・研修

	蚊媒介感染症訓練	疑似症サーベイランス研修会	大阪・関西万博 感染症情報解析センター運用訓練
日程	令和6年7月5日（金）	令和6年11月18日（月）、22日（金）	令和7年3月7日（金）
参加者	府内保健所、大安研、地方衛生研究所、大阪府	国立感染研FETP、博覧会協会、府内保健所、大安研、地方衛生研究所、大阪府、大阪市、疑似症定点病院	国立感染研FETP、博覧会協会、大安研、大阪府、大阪市
概要	<p>◆万博開催中の蚊媒介感染症発生を想定</p> <p>◆蚊の生息調査・同定の実働訓練</p> <p>◆推定感染地の対策等のケーススタディ</p> <p>◆講演（蚊媒介感染症）</p> 	<p>◆万博会場内での疑似症患者確認を想定</p> <p>◆疑似症患者対応のケーススタディ</p> <p>◆講演（万博における感染症対策等）</p> 	<p>◆万博会場内での麻しん疑い患者確認を想定（休日対応を想定）</p> <p>◆麻しん対応のケーススタディ</p> <p>◆講演（マスギャザリングと感染症対応）</p> 

【その他の訓練・研修】

- ◆麻しん対応疫学研修会：万博会場内での麻しん患者確認を想定したケーススタディや講演（マスギャザリングと麻しん対応）
- ◆麻しん・侵襲性髄膜炎菌感染症対応訓練：万博会期中の麻しんや侵襲性髄膜炎菌感染症発生を想定した関係者間の情報連携を確認
- ◆藤井寺保健所管内新興感染症発生時対応訓練：万博会期中の新感染症疑い患者発生を想定した感染症指定医療機関への患者移送
- ◆会場内サーベイランス対応訓練：万博会場内医療スタッフ向け研修に合わせ、会場内サーベイランスで解析センターへ共有される情報を確認